

お客様各位

JIS 改正に伴う SDS の改正について

株式会社神戸製鋼所
溶接事業部門
マーケティングセンター

拝啓

春寒の候、貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

JIS 改正により SDS の変更に関し、報告させていただきます。

何卒、ご理解賜ります様、ご依頼申し上げます。

今後とも、神鋼溶接材料ならびに溶接ロボットのご愛顧賜ります様、ご依頼申し上げます。

敬具

—記—

1. 変更対象銘柄

- 全て

2. 変更理由

- JIS Z 7253 : GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)改正に伴い、更新となります。
- 別紙に新旧の変化点概要を報告致します。

3. 実施時期

- 2021 年 4 月生産分より、切り替えさせていただきます。
- 弊社ホームページ掲載の SDS も 4 月 1 日に切り替えを致します。

4. 補足

- 上記の JIS 改正によって、危険有害性を表現する文言などに変更がありましたが、弊社で評価した範囲では、お客様の管理項目(清掃、防具着用等々)に大きな変更はないと考えます。

ご質問等ございましたら、弊社営業担当までお問い合わせの程よろしくお願い致します。

以上

別紙

国内向け SDS の改訂について

1. はじめに

国内向け SDS(安全データシート)に関し、次の2点を反映させた改訂を行った。

- JIS Z7252、Z7253 改訂に伴う SDS のフォーマットの見直し
 - 至近数年の化学物質に関する『政府による GHS 分類見直し』を反映させた GHS 分類の見直し
- 以下詳細を示す。

2. 対象製品について

SDS のフォーマットの見直しであり、全製品を対象とする。

3. 具体的な変更点について

変更前後について、以下にまとめる。

	変更前	変更後
1 項	『製品』、『会社名』	語句変更：『化学品』、『供給者の会社名称』
2 項	『救急措置』、『ラベル要素』	語句変更：『応急措置』、『GHS ラベル要素』
	『健康に対する有害性』の記載内容 『絵表示またはシンボル』の GHS シンボル	『化学物質の GHS 分類見直し』の対象物質を含有する製品は、変更になる場合がある。
3 項	追加：『労安法通知対象物質』の表中の『政令番号』	
9 項	追加：『可燃性』、『引火性』、『自然発火点』、『分解温度』など計 12 項目	
11 項	追加：『製品（混合物）に含有する化学成分ごとの有害性情報』	
12 項	追加：『製品（混合物）に含有する化学成分ごとの環境影響情報』	
14 項	追加：『国内規制がある場合の規制情報』	
15 項	追加：『労安法通知対象物質』、『PRTR 法の第一種指定化学物質』の表	
16 項	追加：『溶接作業の適用法令』項に『特定化学物質障害予防規則（溶接ヒューム）』を加える	
	備考欄の『JIS Z 7252 : 2014』 『JIS Z 7253 : 2012』	年度修正：『JIS Z 7252 : 2019』 『JIS Z 7253 : 2019』

- 細部の語句修正は割愛する。

以上